

はじめに
進捗
おわりに

臨場感を備えた離散事象シミュレータを 用いた接遇マナーと専門知識の効率的な 学習支援システムの開発

高田 知樹

富山県立大学 電子・情報工学科

2023年01月09日

はじめに

2/5

背景

昨今の IT 技術の発展に伴い、IT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること、という定義であるデジタルトランスフォーメーションが、様々な分野で盛んに行われている。その中でも、教育の分野では、特に注目を集めている。

目的

本研究では、FlexSim という離散事象シミュレータを用いて、薬剤師教育の専門分野である処方箋の問題を解いてもらい、その正誤データを処理することによって、回答者に適切なフィードバックを行い、教育の効率化を目的とする。

顔検出

笑顔を検出するプログラムを調べて、実装した。顔を検出すると青い枠が表示され、笑顔を検出すると赤い枠が表示される。

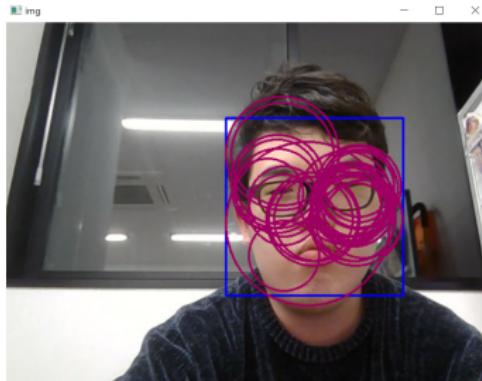


図 1: 笑顔時



図 2: 通常時

問題作成

はじめに
進捗
おわりに

問題作成の方法について富山大学の先生と話し合った。方法としては、除放剤や小児などの分野に分けてから問題を作成する。それぞれの分野には処方箋を確認するにあたって見逃してはいけない項目があるので、それを問題とする。問題と解答のデータベースをそれぞれ作り、複数の問題を自動で作成できるようにする。

まとめ

- 笑顔検出のプログラムを実行した
- 問題の作成方法を考えた

今後

- 笑顔検出を学習支援システムの組み込む
- 問題作成プログラムを作成する
- 卒論を書く